

9 第31回年次学術講演会プログラム (紙面の関係上連名者の所属は省略いたしました)

第I部門 (応用力学・構造力学・橋梁一般など)

▶352教室 (第3新館 5F) — 10月8日 (金)

基礎理論

13:00~18:00

- (I-1) アフィン荷重の構造力学への応用に関する研究
(その3) 北 大・学 小 泉 幹 男
渡辺 昇・金子孝吉
- (I-2) 反力分離による不静定梁反力の計算法(8)
日 大・正 神 田 一 雄
- (I-3) 図式帯幅減少法の数学的基盤について
京 大・正 谷 口 健 男
白石 成人
- (I-4) 2段階ラックス・ヴェンドロフ有限要素法の
収束性について
中 大・学 竹 内 則 雄
川原 睦人
- (I-5) 変分原理によるウェイト・マトリックス法の
考察 東 北 大・正 新 関 茂
佐武 正雄
- (I-6) 流体力学振動の変分原理について
川崎重工・正 坂 井 藤 一
- (I-7) 連続体の相似則について
熊 本 大・正 三 池 亮 次
岡田 敏文
- (I-8) 材料の力学的不均一性の統計論的表現方法と
その考察 東 北 大・正 岸 野 佑 次
- (I-9) 異方性のせん断補正係数と梁の固有値問題に
及ぼす影響 山 梨 大・学 小 林 俊 昭
平島 健一
- (I-10) Couple Stress を考慮した二次元弾性体の基
本解 千 葉 県・正 富 沢 茂 司
平島 健一
- (I-11) 積分方程式法による三次元弾性問題の解析
京 大・正 福 井 卓 雄
丹羽義次・小林昭一
- (I-12) 積分方程式による固有値問題
京 大・学 北 原 道 弘
丹羽義次・小林昭一
- (I-13) 積分方程式による拡散問題の解析
京 大・学 原 利 弘
丹羽義次・小林昭一

▶352教室 (第3新館 5F) — 10月9日 (土)

構造解析 1. (弾性問題)

9:00~12:00

- (I-14) 半無限弾性体中に埋め込まれた半無限円柱の
応力解析について
北見工大・正 奥 村 勇
- (I-15) 剛な円柱で圧縮した多層弾性体の3次元応力
解析 室 蘭 工 大・正 松 岡 健 一
能町 純雄
- (I-16) 内部に集中力を受ける半無限直交異方性体の
解析解 東洋技研C・正 島 田 功
岡村 宏一
- (I-17) 帯鉄筋円柱の角柱要素法による応力解析につ
いて 室 蘭 工 大・学 竹 本 和 生
中村作太郎・松岡健一
- (I-18) 連続板の三次元応力解析
大 阪 市 大・正 堀 川 都志雄
園田恵一郎
- (I-19) 鋼・コンクリート合成板の三次元応力解析
大 阪 市 大・学 広 瀬 清 泰
園田恵一郎・堀川都志雄
- (I-20) 両縁にき裂を有する帯板の応力拡大係数
名 工 大・正 長谷部 宣 男

- (I-21) 応力集中係数からの応力拡大係数の算定
地域振興公団・正 九 反 田 康 普
長谷部宣男
- (I-23) 非対称断面基礎の基礎反力計算
東洋技研C・正 竹 中 応 治
中野 照明
- (I-24) 鋼管杭井筒基礎の弾性挙動について
苫小牧高専・正 沢 田 知 之
能町 純雄
- (I-25) 線形粘弾性基礎上の円板の解析(続)
大 阪 市 大・正 小 林 治 俊
園田恵一郎・石尾年光
- (I-26) 粘弾性地盤上のラーメン構造物の一計算
日本シールド・正 丸 山 雅 淑
草間 孝志
- (I-27) Zig Zag 配管の熱挙動
住友金属・正 渡 辺 奉 昭

構造解析 2. (薄肉構造)

13:00~16:00

- (I-28) 逆台形箱桁の遷移行列による解法
鳥 取 大・正 神 部 俊 一
- (I-29) 薄肉直線材のせん断変形解析
秋 田 大・学 堀 江 保
稼農 知徳
- (I-30) 薄肉ばりの曲げせん断変形と曲げねじれせん
断変形との連成問題
山 梨 大・正 深 沢 泰 晴
太田 貞次
- (I-31) せん断変形を考慮したはりの理論
東 大・正 西 野 文 雄
椿 竜哉
- (I-32) ダイアフラム設計法に関する一試案
川崎重工・正 長 井 正 嗣
坂井 藤一
- (I-33) 並列箱げた橋のダイアフラム設計法
川崎重工・正 近 藤 廣 舒
佐野信一郎・坂井藤一
- (I-34) 剛性比パラメータをもちいた薄肉断面部材
の解析 三井造船・正 安 部 真 一
平嶋政治・矢島鎗司
- (I-35) 薄肉曲線部材の解析
首都公団・正 恵 谷 舜 吾
平嶋政治・内藤誠一
- (I-36) 薄肉曲線けたの有限変位に関する実験的研究
秋 田 大・学 長谷部 薫
薄木征三・稼農知徳
- (I-37) 薄肉円筒部材の有限変位解析
東 大・学 岩 熊 哲 夫
阿井正博・西野文雄

▶352教室 (第3新館 5F) — 10月10日 (日)

構造解析 3. (演算法 固有関数法)

9:00~12:00

- (I-38) 演算法の電算機における能率
信 州 大・正 谷 本 勉之助
石川 清志
- (I-39) 演算法による面内応力系の有限要素法, 第
2報 信 州 大・学 長 谷 正 和
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-40) トンネルのスチールサポート構造物の立体設
計(演算法) 信 州 大・学 松 尾 勝 弥
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-41) 曲線部材をもつ格子(演算法)
信 州 大・学 尾 崎 一 紀
谷本勉之助・夏目正太郎

- (I-42) ケーブル構造物解析の一手法
信州大・学 鈴木 修一
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-43) Bernoulli-Euler 振動と Timoshenko 振動
の特性の差異について
福山 C・正丸 山 泉
谷本勉之助
- (I-44) TIMOSHENKO BEAM 理論による立体骨
組の振動 (株)メルコム・正 伴 野 保 志
谷本勉之助
- (I-45) 固有関数法による複合板の引張り (第3報)
信州大・正 夏 目 正太郎
谷本勉之助・石川清志
- (I-46) 固有関数法による深厚梁の曲げ
信州大・学 山下 裕 章
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-47) 固有関数法による周辺固定扇形板の曲げ
信州大・正 滝 本 幸 夫
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-48) 固有関数法による直交異方性矩形板の曲げ
(固有マトリックス法)
信州大・学 沢 島 守 夫
谷本勉之助・夏目正太郎

構造解析 4. (計算法 有限変位)

13:00~18:00

- (I-49) 高次固有値の低下法とその応用
八代高専・正 水 田 洋 司
平井 一男
- (I-50) トラス構造の弾塑性大変形解析に関する一考
察
神戸製鋼・正 杉 井 謙 一
中西 宏・波田凱夫
- (I-51) 大変形は要素に関する二, 三の考察
愛知工大・正 青 木 徹 彦
- (I-52) 空間骨組材の有限変位場に対する考察
大阪大・正 林 正
前田 幸雄
- (I-53) 薄板の有限変位解析に関する一考察
日本鋼管・正 中 川 茂
阿井正博・西野文雄
- (I-54) 弾塑性問題の数値解法における一考察
大阪大・学 芦 田 義 則
前田幸雄・林 正
- (I-55) 有限要素法における材料非線形問題の解法に
ついて
C.R.C.・正 渡 辺 隆 之
武田 洋・石渡 俊
- (I-56) アーチ系橋の分岐座屈後の変形について
C.E.・正 広 中 宏・治
柴崎 実・西脇威夫
- (I-57) Mooring System Analysis
日本鋼管・正 中 村 公 信
中山義昭・前田直克
- (I-58) 有限変形法による吊構造の一弾塑性解析法
川田工業・正 板 橋 啓 治
大地 羊三
- (I-59) 有限要素法による非定常熱伝導解析に関する
一考察
電力中研・正 中 村 秀 治
- (I-60) 構造物におよぼす熱影響の解析について
早 大・学 逸 見 雄 人
岩崎三日子・堀井健一郎

▶351 教室 (第3新館 5F) — 10月8日 (金)

橋梁構造 1. (曲線橋 アーチ 設計)

13:00~18:00

- (I-61) 曲線斜張橋の静的構造特性
九州工大・学 中 川 進
山本 宏
- (I-62) 曲線 I げた橋の対傾構・横構の弾性挙動につ
いて
大阪市大・正 谷 俊 寛
中井 博・塩見 健
- (I-63) 並列主桁曲線橋の動的解析
九 大・正 内 谷 保
彦坂 照・中島光弘

- (I-64) 曲線格子桁の動的塑性特性
九 大・正 今 井 富士夫
太田俊昭・寺本恵一郎
- (I-65) 板と桁の偏心結合を考慮した曲線桁橋の解析
九 大・学 平 田 勝 啓
吉村虎蔵・大塚久哲
- (I-66) アーチ系橋梁の温度応力の剛性マトリックス
による解析 北 大・正 佐 藤 浩 一
渡辺 昇・林川俊郎
- (I-67) 任意形・変断面アーチの自由振動について
長 崎 大・正 崎 山 毅
- (I-68) 多柱基礎頂版の設計に関する一考察
本四公団・正 加 島 延 行
松村駿一郎・保田雅彦
- (I-69) 道路橋設計活荷重の定量評価に関する研究
早 大・学 城 戸 正 行
堀井健一郎・吉成賢明
- (I-70) 統計処理による PC 橋の設計法について
建 土 研・正 岩 松 幸 雄
- (I-71) 桁橋トータルシステムにおける自動設計と自
動製図 春本鉄工・正 木 本 栄 一
魚谷義彦・大宮司 尚
- (I-72) 橋梁の設計・生産のための会話型グラフィッ
ク言語 横河橋梁・正 花 村 義 久
土屋 克彦

▶351 教室 (第3新館 5F) — 10月9日 (土)

橋梁構造 2. (吊橋)

9:00~12:00

- (I-73) 吊橋の撓度理論における基礎方程式の考察
(第3報) 本四公団・正 林 有一郎
- (I-74) 吊橋の変断面連続補剛桁のねじり応力につ
いて
首都公団・正 小 森 和 男
倉西 茂
- (I-75) 吊橋の振動解析に関する二, 三の考察 (その
2) 川田工業・正 前 田 研 一
前田幸雄・林 正
- (I-76) 架設中吊橋の立体有限変形について
大阪大・学 中 川 知 和
小松定夫・西村宣男
- (I-77) 吊橋の極限耐力と塑性力学特性
九 大・学 緒 方 紀 夫
太田俊昭・黒木健実
- (I-78) 塔の剛性を考慮した多径間キャットウォーク
の近似変形解析
神戸製鋼・正 岡 田 勝
波田凱夫・中西 宏
- (I-79) 伝達マトリクス法によるケーブルの解析
信州大・学 高 村 裕
吉沢 幸和
- (I-80) 自重分布を考慮したケーブル構造解析
*電 電 公 社・正 広 瀬 孝 司
大地 羊三
- (I-81) 吊橋平行線ケーブルの2次応力解析 (その3)
神戸製鋼・正 中 村 憲 市
新家 徹・広中邦汎
- (I-82) ケーブル2次応力に関する実橋試験について
本四公団・正 北 川 信
田島二郎・沢井広之
- (I-83) ケーブル架設時におけるエキストラストラン
ドの特性 日本建設 C・正 橋 場 明
保田雅彦・大橋治一
- (I-84) ケーブルバンドに関する実験的研究 (その2)
神戸製鋼・正 広 中 邦 汎
榎波義幸・北川 信
- (I-85) 摩擦サドルの力学機構について
本四公団・正 多 田 一 正
林 有一郎

橋梁構造 3. (トラス 合成桁)

13:00~18:00

- (I-86) トラストガーダーの弾性挙動について
岩 手 大・正 岩 崎 正 二

- 能町 純雄
- (I-87) PCトラス橋の実験による応力性状に関する研究 日 大・正 若 下 藤 紀
- (I-88) 合成トラスの研究 国 鉄・正 谷 口 紀 久
阿部英彦・武田正紀
- (I-89) 鋼部に偏心引張力を導入するプレストレス合成桁工法を用いた実橋の試算設計
栗本鉄工・正 大 黒 俊 明
赤尾親助・栗田章光
- (I-90) 鋼部に偏心引張力を導入するプレストレス合成桁工法について(続)
大阪高専・正 平 城 弘 一
赤尾親助・鶴飼光夫
- (I-91) 斜合成桁橋の数値解析
大阪工大・学 岸 本 克 久
岡村宏一・島田 功
- (I-92) 不完全合成げたの有限要素解析
名古屋大・正 宮 里 康 則
洪田 純夫
- (I-93) ハイブリッド合成げたの曲げ性状について
大阪大・学 中 本 泰 弘
前田幸雄・梶川靖治
- (I-94) 鉄道橋における3径間連続合成桁の設計施工報告
東急電鉄・正 小 俣 芳 明
三村 貞夫
- (I-95) 多主桁橋の床版応力に関する二、三の考察
北海道土試・正 関 口 信一郎
芳村 仁・並沢憲吉
- (I-96) 鋼鉄道橋桁ディテールの検討
国 鉄・正 阿 部 允
井口光雄・稲葉紀昭

▶351 教室 (第3新館 5F)―10月10日(日)

構造解析 5. (板 床版)

9:00~12:00

- (I-97) RC版の弾性応力について
北 大・正 堺 孝 司
能町純雄・角田与史雄
- (I-98) 鉄筋コンクリート床スラブの弾塑性解析
北 大・正 上 田 正 生
内山武司・土橋由造
- (I-99) 鉄筋コンクリート床版のひびわれに関する研究
大阪大・正 松 井 繁 之
前田 幸雄
- (I-100) ひびわれ間隔を考慮したRCスラブの数値解析
東洋技研C・正 森 茂 義
岡村宏一・島田 功
- (I-101) サンドイッチ構造の解析
名工大・学 木 全 隆
松浦 聖
- (I-102) 骨つき板構造の解析
石川島播磨・正 結 城 皓 眩
- (I-103) 曲線板の動的特性に関する研究
名古屋大・学 水 沢 富 作
梶田建夫・成岡昌夫
- (I-104) 曲線鋼床版の基礎方程式について
北 大・正 蒔 沢 憲 吉
芳村 仁
- (I-105) 鋼床版の変形特性について
本四公団・正 福 井 幸 夫
沢井広之・榎波義幸
- (I-106) 閉リブ鋼床版の曲げについて
北 大・学 高 橋 義 裕
能町純雄・角田与史雄
- (I-107) 閉リブで補剛された平板の曲げについて
北見工大・正 大 島 俊 之
能町 純雄
- (I-108) 鋼床版とアスファルト舗装との合成板の実験的研究
北 大・正 渡 辺 昇
大島 久・金子孝吉
- (I-109) 鋼床版の実橋載荷試験
建土研・正 山 本 善 行

佐伯彰一・小笠原 保

構造解析 6. (シェル)

13:00~16:00

- (I-110) 弾性床上的円筒形タンクの温度応力について
北 大・正 三 上 隆 仁
芳村 仁
- (I-111) Latticed Shell の一解法
琉球大・正 大 城 武
渡嘉敷直彦
- (I-112) 曲がりばり円筒フランジの非線形解析
関西大・正 三 上 市 蔵
米沢 博・森沢敬文
- (I-113) 折れ曲り部分を有する薄肉円筒シェルの応力解析
豊田高専・正 桜 井 孝 昌
- (I-114) 枝管載荷におけるT形継手の弾性挙動について
埼玉大・学 青 柳 栄
秋山成興・山本一之
- (I-115) 円筒柱形ラーメン隅角部の設計図表について
埼玉大・正 浜 島 良 吉
奥村 敏恵
- (I-116) 薄肉円筒シェルの弾塑性解析
大阪工大・正 重 富 誠一郎
岡村宏一・石川一美

▶342 教室 (第3新館 4F)―10月8日(金)

座 屈 1. (柱 はり)

13:00~16:00

- (I-118) 鋼柱の座屈強度の安全性の評価
新日本技研・正 梶 田 順 一
福本 晴士
- (I-119) 弾性床上的長柱の座屈
三和建設C・正 築 山 武 司
谷本勉之助
- (I-120) 数値計算に適した弾性床上的棒の座屈の剛性マトリックス解析法について
久慈高校・正 安 彦 敏 郎
渡辺 昇・宮本 裕
- (I-121) 一端固定他端自由の圧縮柱の有効座屈長について―初期不整を有する場合―
明石高専・正 向 山 寿 孝
小松 定夫
- (I-122) 横だおれ座屈公式
日本鋼管・正 青 島 泰 之
- (I-123) 桁の横倒れ座屈の剛性マトリックスによる解法
北 大・学 佐 藤 光 一
渡辺 昇・林川俊郎
- (I-124) 薄肉曲線材の有限変位理論に基づく横座屈解析
秋 田 大・正 薄 木 征 三
稼農 知徳
- (I-125) プレートガーダーの非弾性横倒れ座屈
舞鶴高専・正 武 田 八 郎
- (I-126) 横桁による並列桁の横補剛効果
金沢工大・正 西 田 進 博
吉田 博
- (I-127) 伝達マトリックス法による平面骨組構造の面外座屈解析
金沢大・正 山 森 広 一
吉田 博
- (I-128) 交番集中荷重を受けるH鋼単純梁の横座屈に関する解析
パシフィックC・正 児 玉 豊
後藤尚男・亀田弘行

▶342 教室 (第3新館 4F)―10月9日(土)

座 屈 2. (板 動的不安定)

9:00~12:00

- (I-129) 実橋の実物大模型による補剛板の残留応力および初期たわみの測定報告
日立造船・正 牛 尾 正 之
小松定夫・北田俊之

- (I-130) 補剛材付き板の座屈に関する研究
国鉄・正阪本謙二
阿部英彦・寺田博昌
- (I-131) 有限帯板法による折板構造部材の座屈解析
早大・学依田照彦
平嶋政治・山本美博
- (I-132) 純曲げをうける箱形桁の弾性座屈実験
都立大・学小川雄二郎
伊藤文人
- (I-133) U形断面桁の曲げ座屈強度
名城大・正久保全弘
福本 晴士
- (I-134) 有限帯板要素法による縦横補剛材を有する板の座屈解析
金沢大・正吉田博
前川 幸次
- (I-135) 偏心補剛板の座屈について
広島大・正吉浪康行
大村 裕
- (I-136) 伝達マトリックス法によるサンドイッチ板の座屈解析に関する研究
徳山高専・正重松恒美
見沢繁光・大賀水田生
- (I-137) 丸味のある矩形板の座屈の研究(その一)
北大・正林川俊郎
渡辺 昇
- (I-138) 梁の断面形状が動的不安定現象に与える影響について
東大・学山田晴利
西岡 隆
- (I-139) 薄肉断面片持ちばりの動的不安定実験
秋大・学山岸一彦
稼農 知徳
- (I-140) 非保存力を受ける骨組構造物の弾性安定性に及ぼす減衰の影響について
福山 C・正波木健一
会田 忠義

耐力力 1. (板構造)

13:00~16:00

- (I-141) 閉断面リブを有する補剛板の圧縮耐力力について
京大・正渡辺英一
- (I-142) 初期不整を有する補剛された圧縮板の弾塑性有限変位解析
大阪大・正北田俊行
小松定夫・岡田純一
- (I-143) 圧縮を受ける補剛板の辺長比と必要剛比の関係について
東洋技研 C・正石川一美
岡村宏一・吉田公憲
- (I-144) 補剛された圧縮板の極限強度に関する研究
大阪大・学竹谷栄一
小松定夫・北田俊行
- (I-145) 初期不整のある板要素の圧縮耐力力について(その2)
大阪府高専・正日笠隆司
前田 幸雄
- (I-146) 補剛された板の圧縮耐力力に関する実験的研究(第2報)
川崎製鉄・正金子忠男
井上敬一・雨宮栄一郎
- (I-147) 板の座屈後の挙動に関する研究(第2報)
神戸製鋼・正滝本哲四郎
藤野真之・森脇良一
- (I-148) 消音鋼桁の座屈強度に関する実験的研究
国鉄・正阿部英彦
森脇良一・藤野真之
- (I-149) セン断座屈後の薄板の応力および変形特性について(続)
東洋大・正新延泰生
- (I-150) プレートガーダーの強度設計に関する研究一特に初期不整を考慮した場合一
神戸製鋼・正藤野真之
森脇良一・小松定夫
- (I-151) 初期たわみを有するプレートガーダー腹板の非線形挙動
関西大・正堂垣正博
三上市蔵・米沢 博

▶342 教室 (第3新館 4F) — 10月10日 (日)

耐力力 2. (パイプ アーチ)

9:00~12:00

- (I-152) 曲げを受ける鋼管の終局耐力力に関する実験および理論的研究
神戸製鋼・正大塚雄右
佐伯彰一・井上啓一
- (I-153) 曲げと軸力を受ける円形断面部材の終局耐力力に関する実験的研究
神戸製鋼・正葛西俊一郎
井上啓一・大塚雄右
- (I-154) 変断面アーチの耐力力について
東北大・学岡部俊三
倉西 茂
- (I-155) 側方荷重の影響を考慮した鋼アーチの面内耐力力
東北大・正矢吹哲哉
倉西 茂
- (I-156) 大三島橋の幾何学的非線形性と安全性について
大阪大・学中村滋
前田幸雄・林 正
- (I-157) 大三島橋の実験的研究
大阪大・正前田幸雄
林 正・松井繁之
- (I-158) アーチの面内耐力力模型実験
神戸製鋼・正新家徹
頭井洋・波田凱夫
- (I-159) 鋼アーチの耐力力に関する実験的研究
熊本大・正山尾敏孝
崎元達郎・小松定夫
- (I-160) 鋼アーチの面外耐力力について
熊本大・正崎元達郎
田上博・小松定夫
- (I-161) 横材で結合した複弦鋼アーチの面外耐力力について
日本水道 C・正釣慎一
崎元達郎・小松定夫
- (I-162) bi-linear 型地山モデルにおける鋼アーチ支保工の弾塑性挙動について
九大・学能登原功武
榑木 武

耐力力 3. (はり 骨組)

13:00~16:00

- (I-163) 並列曲線 I げた橋の横たおれ耐力力に関する実験的研究
大阪市大・正事口寿男
中井博・吉川 実
- (I-164) 変断面連続格子桁の極限強度について
立命館大・正伊藤満
福本 晴士
- (I-165) 塑性域の拡がりを考慮した平面骨組の弾塑性解析に関する基礎的研究
徳島大・正平尾潔
児嶋弘行・里見恒利
- (I-166) 有限変位並びに塑性域の拡がりを考慮した平面骨組の一弾塑性解析
徳島大・学石川正臣
平尾 潔・児嶋弘行
- (I-167) 中間塑性関節の発生を考慮した平面骨組の一弾塑性解析
四国建設 C・正吉崎和人
児嶋弘行・平尾 潔
- (I-168) 変動繰返し荷重を受ける骨組構造物の終局変形解析
防衛大・正石川信隆
奥出浩次・岡元北海
- (I-169) CT ガーダーの耐力力について
名古屋大・学牧野時則
菊池洋一・三宅一充
- (I-170) プレハブ橋の耐力力について
名古屋大・学土山茂希
菊池洋一・近藤明雅
- (I-171) 既設 R-C T 形橋の耐力力実用計算法
東洋技研 C・正能瀬啓介
竹中 応治
- (I-172) 光弾性皮膜法による塑性挙動の解析
埼玉大・学石井好正

- 山本一之・秋山成興
- (I-173) 光弾性皮膜法による有孔モルタル柱の偏心圧縮実験 信州大・正三井康司
吉田俊弥
- (I-174) 地盤との相互作用を考慮した構造物の極限解析 信州大・正草間孝志
- (I-175) トラス格点部の耐荷力実験(I) 埼玉大・学松久 茂
山本一之・奥村敏恵
- (I-176) シールドトンネル内軌道用鋼製枕木の強度実験について 日本鋼管・正伊藤和五郎
佐々木茂

▶341 教室 (第3新館 4F) — 10月9日 (土)

材料・疲労

9:00~12:00

- (I-177) 鋼部材における切欠き部のひずみ集中に関する研究 東工大・学西川和広
西村俊夫・三木千寿
- (I-178) 鋼部材の振る挙動に及ぼす歪硬化現象の効果について 九大学・学藤岡健三
太田俊昭
- (I-179) 二段繰返し荷重による疲労亀裂伝播に関する研究 東大・学正山口啓
西岡隆・奥村敏恵
- (I-180) 疲れきれつの進展挙動に関する研究 東工大・学田辺寛明
西村俊夫・三木千寿
- (I-181) 切欠きを有する薄板の破壊 都立大・学宇田川清
坂野和彦・堀川浩甫
- (I-182) 拡張有孔梁の挙動特性に関する研究 国鉄・正松田好史
前田幸雄・松井繁之
- (I-183) 構造用鋼材の低サイクル疲労挙動に関する研究 東工大・正三木千寿
西村俊夫・鈴木克宗
- (I-184) スタッド付鋼板の疲労強度 大阪大・正梶川靖治
前田幸雄
- (I-185) 繰返し荷重を受ける立体トラスの疲労振動特性について 室蘭工大・正中村作太郎
松岡健一・田中功
- (I-186) 60φハンガーロープ(CFRC型)の疲労特性 本四公団・正奥川淳志
田島二郎・本郷慎一
- (I-187) 海洋構造物の疲労設計における荷重に関する一考察 本四公団・正森林宣照

疲労・接合

13:00~16:00

- (I-188) 面外曲げを受ける隅肉溶接継手の疲れ亀裂の研究 大阪大・学宇高史範
前田幸雄
- (I-189) 溶接継手の疲労寿命の数値解析 ダイクレ・正鈴木清
白石隆義・菊池洋一
- (I-190) 高張力鋼溶接継手の力学的特性 都立大・学竹内政之
堀川浩甫
- (I-191) コンクリート充填による異径鋼管重ね継手の強度と剛性 住友金属・正三好博嗣
山川純雄・井上肇
- (I-192) 長大鋼管ぐいの新しい現場溶接について 川崎製鉄・正榊豊和
古谷博明・小関楯志
- (I-193) 鋼管接合部への超音波探傷検査の適用 都立大・正赤沢淳
大森俊博・国友勝太郎
- (I-194) タワーリンク用ピン・ブッシュの摩耗試験(続報) 本四公団・正村瀬佐太美
田島二郎・奥川淳志

- (I-195) 摩擦抵抗下における力の伝達機構について 本四公団・正中山武志
横波義幸・堂垣内光弘
- (I-196) 大型鋼部材の摩擦接合 神戸大・正西村昭隆
盛岡純一・富田隆
- (I-197) 摩擦面を表面処理した高力ボルト継手の強度について 川崎製鉄・正石渡正夫
松尾弘一・菊川春三
- (I-198) 摩擦接合の孔周辺応力と疲労強度について 広島工大・正皆田理昭
西村昭

▶341 教室 (第3新館 4F) — 10月10日 (日)

耐風 1.

9:00~12:00

- (I-199) 一様流中で振動する円柱について 九大・正岡島厚
原田健一
- (I-200) 角柱まわりの流れ 九大・正溝田武人
- (I-201) H-section の flutter 現象に関する基礎的考察 京大・学丸林修二
白石成人・岡南博夫
- (I-202) 1:2 矩形断面の渦励振動特性に関する実験的考察 京大・学武内隆文
白石成人・松本勝
- (I-203) 乱流中の正方形柱の挙動に関する一考察 東大・正宮崎正男
宮田利雄・小栗英和
- (I-204) 平板状構造断面の乱流不規則振動現象に関する基礎的研究 京大・学丸山俊
白石成人・松本勝
- (I-205) 振動記録より空気力を推定する方法とその応用 立命館大・学細見雅
小松定夫・小林絃士
- (I-206) かもめ大橋模型に作用する動的空気力について 日立造船・正南条正洋
小松定夫・小林絃士
- (I-207) かもめ大橋模型に作用する変動風圧力の測定 立命館大・正小林絃士
小松定夫・南条正洋
- (I-208) パワースペクトルの計算方法について 本四公団・正秋山晴樹
岡内功
- (I-209) 風の乱れに起因する不規則応答の最大値評価に関する一考察 京大・学新川隆伸
白石成人・松本勝

耐風 2.

13:00~16:00

- (I-210) 自然風下で吊橋に作用する変動空気力について 本四公団・正中美宇
岡内功・横波義幸
- (I-211) 自然風による小鳴門橋の応答について(第4報) 徳島大・学橋本孝夫
宇都宮英彦・沢田勉
- (I-212) 吊橋の耐風性と地形的効果 東大・正宮田利雄
伊藤学・大竹完治
- (I-213) フラッター振動モードを考慮した吊橋の耐風安定性について 川崎重工・正小川一志
- (I-214) 吊橋断面のフラッタにおよぼす中央分離帯の影響 九大・正中村泰治
吉村健・渡辺公彦
- (I-215) 吊橋架設時の耐風性について 建士研・正横山功一
成田信之
- (I-216) 吊橋断面の突風応答(第2報) — インディショナル応答と流れの観測 — 九大・学吉村健

- 中村 泰治
- (I-217) 吊橋主塔架設時の耐風安定性について
三菱重工・正 斎 藤 通
高山弘美・坂田 弘
- (I-218) 吊橋主塔架設時耐風対策の一試案について
三井造船・正 井 上 浩 男
南 真和・遠山泰美
- (I-219) キャットウォークの耐風性に関する研究
新日本製鉄・正 北 条 哲 男
伊藤 学・宮田利雄
- (I-220) 大型鋼製冷却塔の設計について
横河橋梁・正 飯 田 勝
原田康夫・上岡正明

▶333 教室 (第3新館 3F) — 10月8日 (金)

確率過程・信頼性

13:00~16:00

- (I-221) 地中構造物の地震応答に関する確率論的評価
不動建設・正 元 山 峰 夫
高田 至郎
- (I-222) 2自由度履歴構造物の定常ランダム応答予測
とシミュレーション
京 大・正 家 村 浩 和
後藤尚男・谷村正人
- (I-223) 非常確率過程の first-passage probability
について 広島工大・正 中 山 隆 弘
小松 定夫
- (I-224) 非常不規則荷重を受ける構造物系の分散, 共
分散応答解析 長 崎 大・正 岡 林 隆 敏
- (I-225) 確率過程論による鉄筋コンクリートばりの信
頼性解析 鳥 取 大・学 山 根 和 弘
白木 渡・高岡直善
- (I-226) サイズミックスリスクを考慮した経年変化をと
もなう構造物の設計手法の適用例
建 土 研・正 田 崎 忠 行
栗林栄一・市川秀樹
- (I-227) 保証荷重による構造物の強度の推定に関する
一考察 石川高専・正 出 村 禧 典
小堀 為雄
- (I-228) 極値推定法による構造安全性の推定
名古屋大・学 馬 場 俊 介
中川建治・成岡昌夫

▶333 教室 (第3新館 3F) — 10月9日 (土)

耐震 1. (被害 地震動)

9:00~12:00

- (I-229) 福井・えびの・伊豆半島沖地震の家屋及び人
的被害 建 土 研・正 羽 立 隆 幸
栗林栄一・宮田忠明
- (I-230) 大分県中部地震における2ヒンジアーチ橋の
被害とその変形解析
九 大・学 野 田 建 治
吉村虎蔵・肥後野孝倫
- (I-231) 強震記録の波動論的考察—第3報
東北工大・正 神 山 真
- (I-232) 我国の地盤上で得られた地震動の加速度波形
記録および加速度応答スペクトルの特性につ
いて 技術開発・正 佐 伯 光 昭
片山恒雄・岩崎敏男
- (I-233) 岩地盤で実測された地震動の性質について
東 大・学 川 上 英 二
田村重四郎
- (I-234) N値とせん断波速度の関連性に関する二, 三
の考察 都 立 大・正 宮 野 道 雄
望月利男・国井隆弘
- (I-235) 震源モデルによる本四架橋地点の地震動の解
析 建 土 研・正 若 林 進
岩崎敏男・堀内俊一
- (I-236) 相互スペクトル・シミュレーション及び地震
動主軸の概念について
武蔵工大・正 星 谷 勝

- (I-237) 構造物の非弾性応答からみた地震動の等価継
続時間の表現法
京 大・正 亀 田 弘 行
- (I-238) 地震加速度記録の非定常パワースペクトルに
関する一考察 東 工 大・正 吉 田 裕
増田陳紀・佐竹昭夫
- (I-239) 相互相関を有する非定常人工地震波の作成
清水建設・正 石 井 清

耐震 2. (構造物)

13:00~16:00

- (I-240) 地中埋設管の地震時挙動に関する二, 三の考
察 新 潟 大・正 鶴 飼 恵 三
小林勝彦・松野操平
- (I-241) 地震時地中埋設管の挙動に関する研究
東京瓦斯・正 塚 本 克 良
西尾 宣明
- (I-242) 埋設鉄鉄管路の地震時挙動についてのシミュ
レーション 京 大・正 土 岐 憲 三
安田 明己
- (I-243) ケーソン基礎の地震測定とその考察 (その2)
東北 大・正 浅 野 照 雄
佐武正雄・古山悦夫
- (I-244) 沈埋トンネルの地震時応力
大成建設・正 浜 田 政 則
石田 修
- (I-245) 地震時の沈埋トンネルの歪について
東 大・正 田 村 重四郎
加藤 勝行
- (I-246) 地下鉄構築及びその周辺地盤の振動解析の一
方法 東 大・学 村 豊
田村重四郎
- (I-247) 水平動における液体貯蔵タンク底板の挙動に
ついて 大阪府高専・正 宮 脇 幸治郎
- (I-248) 液体タンクの地震時動液圧に及ぼす側板変形
の影響について
川崎重工・正 迫 田 治 行
坂井 藤一
- (I-249) RC地下タンクの地震応答計算
大成建設・正 横 山 正 義
浜田政則・大森弘一
- (I-250) 固定型海洋鋼構造物の振動特性
新 潟 大・正 大 川 秀 雄
矢島 基臣
- (I-251) 海洋構造物の動的応答に関する一考察
東 大・正 西 岡 隆
- (I-252) 海洋構造物の耐震解析
三井造船・正 今 井 兼 久
遠山泰美・金広和彦
- (I-253) 多柱基礎橋脚に対する動水圧の近似式
九州工大・正 高 西 照 彦
小坪 清真

▶333 教室 (第3新館 3F) — 10月10日 (日)

耐震 3. (基礎・相互作用)

9:00~12:00

- (I-254) 剛体の起振実験から得られた地盤の複素ばね
特性について 電力中研・正 塩 見 哲 一
堤 一
- (I-255) 群杭・地盤系のモデル化について
九 大・学 井 上 真 三
小坪 清真
- (I-256) 杭基礎の振動解析モデルについての考察
本四公団・正 神 弘 夫
林 宣照
- (I-257) 土一構造物系の動的相互作用の研究—(砂の
動的構成方程式について)—
防衛 大・正 藤 本 一 男
竹田仁一・宮崎光夫
- (I-258) 構造物—地盤の相互作用に関する基礎的研究
京 大・正 河 野 健 二
山田善一・滝本純也

- (I-259) 構造物基礎—地盤系のランダム応答解析
京大・正北浦 勝 後藤 尚男
- (I-260) モデル実験におけるくい—地盤間復元力特性
とその実大ぐいとの対応
東京消防庁・正 笠 原 雄 次
小泉敏一・長嶋文雄
- (I-261) くい—地盤間の実復元力特性を用いた連成系
の振動応答 都立大・正 長 嶋 文 雄
小泉敏一・望月利男
- (I-262) 基礎杭に生じる地震時応力の測定
大成建設・正 佐 藤 誠 一
浜田 政則
- (I-263) 地中連続壁井筒基礎の動的特性について
大林組・正 後 藤 洋 三
上野 孝之
- (I-264) 強震記録から推定される井筒基礎橋脚の動特性
(その3) 大林組・正 菊 地 敏 男
国井 隆弘
- (I-265) 表層地盤の応答を考慮した井筒基礎橋脚の地震
時挙動 埼玉大・正 蓮 池 博
国井 隆弘
- (I-266) 強震観測から推定される井筒基礎橋脚の非線
型振動 前田建設・正 荏 本 孝 久
国井 隆弘

耐 震 4. (地盤・波動)

13:00~16:00

- (I-267) 任意の境界条件を有する表層地盤の震動解析
京大・正 佐 藤 忠 信
土岐 憲三
- (I-268) 地震時における地動軌跡と波動特性
北大・正 金 子 孝 吉
渡辺 昇
- (I-269) 非線形特性を有する層状地盤の地震応答解析
宅地公団・正 朴 谷 孝 久
川本 隆万・富樫 豊
- (I-270) 多層地盤の振動の剛性マトリックスによる解
法 北大・学 馬 場 敦 美
渡辺 昇・金子孝吉
- (I-271) 地中坑道より発生する波動の地盤内での伝播
状況に関する実験的研究
東京理大・正 森 地 重 暉
田村重四郎
- (I-272) 地表・地中の同時測定による交通振動の伝播
特性 道路公団・正 北 村 豊
久保慶三郎・片山恒雄
- (I-273) 機械基礎の振動と周辺地盤への振動伝播につ
いて 住友金属・正 飯 田 毅
- (I-274) 群孔を有する平板を伝播する波動の研究
広島大・正 佐 藤 誠
- (I-275) 平板における初期衝撃の曲げ伝播について
北大・学 川 上 博 史
能町純雄・岸 徳光
- (I-276) 平板の自由境界による曲げ波動について
北大・学 橋 本 哲
能町純雄・岸 徳光

▶332 教室 (第3新館 3F)—10月8日(金)

振 動 1. (解析 実測)

13:00~16:00

- (I-277) 振動データのグラフ化の一手法
名古屋大・学 久保田 博 巳
島田静雄・後藤茂一
- (I-278) 梁の振動の初期境界値問題(第2報)
信州大・正 石 川 清 志
谷本勉之助・夏目正太郎
- (I-279) 新しい形状関数による平板曲げの自由振動解
析 戸田建設・正 清 水 博
谷本勉之助・石川清志
- (I-280) 模型橋の強制振動試験および解析
国鉄・正 西 村 昭 彦
田村 浩一

- (I-281) 変断面梁の曲げ振動に関する研究
東北大・学 滝 山 和 男
多谷 虎男

- (I-282) 鋼床板振動の基礎的解析
秋田大・学 龍 内 健 二
稼農 知徳
- (I-283) トラス橋の立体振動特性について
大阪大・正 西 村 宣 男
小松定夫・大前明未
- (I-284) 長大支間を有するトラス橋の振動特性
道路公団・正 荒 川 直 士
沼田耕一・辻 松雄
- (I-285) 上路型補剛アーチ橋の振動性状について
武威工大・学 望 月 利 成
岡 淳二・橋 大介
- (I-286) アーチ系鋼橋の垂直および水平の固有振動周
期について 岩手大・正 宮 本 裕
渡辺 昇・島津雅洋
- (I-287) 偏平アーチの非線形振動
長崎大・正 高 橋 和 雄
中島 敏
- (I-288) 末広大橋振動実験について
建土研・正 桂 樹 正 隆
成田信之・横山功一
- (I-289) 吊橋基礎の模型振動実験
本四公団・正 新 田 篤 志

▶332 教室 (第3新館 3F)—10月9日(土)

振 動 2. (交通 地盤)

9:00~12:00

- (I-290) 振動感覚から見た橋梁の使用性について
福井工大・正 梶 川 康 男
小堀 為雄
- (I-291) 歩道橋の振動感覚について
日本設計・正 鈴 木 良 春
源代俊夫・桜井孝夫
- (I-292) 箱桁の移動荷重による振動性状について
北大・学 岸 徳 光
能町純雄・角田与史雄
- (I-293) 無次元量による補剛アーチ橋の走行応答解析
九大・学 肥後野 孝 倫
吉村虎蔵・江村康博
- (I-294) 実交通による橋の応答実測例
金沢大・正 城 戸 隆 良
小堀為雄・初宿廣幸
- (I-295) 走行荷重による道路橋の非定常不規則振動に
ついて 九大・正 彦 坂 照
吉村虎蔵・綿島弘之
- (I-296) 橋梁床版に作用する衝撃力について
道路公団・正 川 人 達 男
小川 清・岩井文明
- (I-297) 基礎の特性を考慮した構造物の動的解析
早 大・正 宮 原 玄
- (I-298) 高橋脚高架橋の耐震性に関する一研究
京大・学 西 谷 昇
山田善一・古川浩平
- (I-299) 弾性支承上の梁の非線型地震応答について
道開発局・正 井 藤 昭 夫
- (I-300) 多径間長大連続橋の地震時蛇行運動の解析
道路公団・正 松 田 哲 夫
鶴飼恵三・松野操平
- (I-301) PC斜張橋の耐震特性について
鹿島建設・正 竹 田 哲 夫
三村長二郎・森光康夫
- (I-302) アスファルトコアダム地震時応力
大成建設・正 泉 博 允
電村勝美・坪田健一

振 動 3. (減衰 計算法)

13:00~16:00

- (I-303) 数値ラプラス逆変換の過渡応答解析への応用
京大・学 中 島 信
丹羽義次・小林昭一

- (I-304) はり振動における要素法の適用限界
道開発局・正 品 川 守
能町純雄・角田与史雄
- (I-305) 大きいタイムメッシュによる多質点系のレス
ポンス解析 熊 本 大・正 平 井 一 男
水田 洋司
- (I-306) 減衰マトリックスの対角化条件に関する研究
京 大・学 山 本 秀 隆
山田善一・河野健二
- (I-307) 2次元スペクトルによる交通振動の解析
東 大・正 佐 藤 暢 彦
久保慶三郎・片山恒雄
- (I-308) 応答加速度におよぼす入力地震波の振動数特
性に関する一考察
東 工 大・正 増 田 陳 紀
吉田 裕・沢 正
- (I-309) 弾性体の非線形振動解析法について
長 崎 大・学 山 辺 輝 久
高橋和雄・河原清勝
- (I-310) 振動試験による複素弾性率の測定
秋 田 大・正 赤 木 知 之
- (I-311) 鋼床版と舗装との合成体の振動減衰特性に関
する実験的研究
函 館 高 専・正 三 浦 登 久
渡辺 昇・大島 久
- (I-312) オイルダンパーを取り付けたケーブルの振動
について 東北工大・正 松 山 正 将
高橋 龍夫
- (I-313) モーダルアナリシスによる井筒基礎橋脚の非
線型応答解析 都 立 大・学 田 中 努
国井 隆弘
- (I-314) 衝突問題の2次元解析例
東北工大・正 秋 田 宏
- (I-315) 単純鋼構造系の動的復元力特性に関する実験
的研究 長 野 高 専・正 服 部 秀 人
国井 隆弘

▶332 教室 (第3新館 3F) - 10月10日 (日)

最適設計

9:00~12:00

- (I-316) 幾何計画法への応用に関する一考察
室 蘭 工 大・正 杉 本 博 之
- (I-317) 土木構造物最適化のための設計評価システム
日本 IBM・正 日 紫 喜 一 史
- (I-318) 桁高制限を有する鋼 I 桁橋の図式最適設計法
(第二報) 愛 媛 大・学 山 縣 延 樹
大久保禎二
- (I-319) 部分分割によるトラス構造物の最適設計
愛 媛 大・正 大 久 保 禎 二
池田 澄隆
- (I-320) 構造物の設計における部材の Suboptimization
の理論的考察 岐 阜 大・正 近 藤 昇
- (I-321) 最適無次元構造解析について (第2報)
熊 本 大・正 小 林 一 郎
三池亮次・丸内 進
- (I-322) 形状を考慮したトラス構造物の最適設計に関
する一考察 京 大・学 北 園 茂 喜
白石成人・古田 均
- (I-323) 期待コストを考慮したトラスの最適設計に関
する一考察 徳 島 大・正 澤 田 勉
宇都宮英彦
- (I-324) 剛節骨組の最適設計に関する一考察
京 大・正 吉 田 均
白石成人・垂水国博
- (I-325) 骨組構造物の2次最適塑性設計に関する一考
察 防 衛 大・正 中 村 弘
石川信隆・岡元北海
- (I-326) 動的応答を考慮したラーメンの最適設計
信 州 大・正 小 山 健 尚
長
- (I-327) 固有振動数による歩道橋の最適設計
武 蔵 工 大・学 森 本 功
江端弘之・西脇威夫
- (I-328) 地震荷重をうけるタワーブアー系橋軸直角方
向の最適設計 京 大・正 古 川 浩 平
山田善一・浜之上純

新会長最上武雄博士は、明治44年3月13日生まれ、東京都のご出身です。旧制第八高等学校を経て、昭和9年3月東京帝国大学工学部土木工学科を卒業され、学生時代から秀才の誉れ高く、そのまま大学に残られ、山口昇教授の愛弟子として学究の道に専らまれました。応用力学を専攻されていましたが、なかでも土質力学に深い関心をいだかれ、鋭い洞察力と熱心な学究的研究により、土の力学的性質を理論的に解明することに努められ、数々の輝かしい業績を残し日本における土質工学の発展・普及に多大の貢献をされました。特に粒状体の力学には、先生の長い学究生活を通じ、一貫して深い情熱をそそがれ、粒状体に起こる現象の理論的究明にあたられています。先生は昭和18年に土木学会賞、42年には土質工学会賞を受賞しておられますが、そのテーマがそれぞれ「乾燥砂の運動機構」および「粒状体の力学」であることから、この間の事情

最上新会長の横顔



第62回総会で挨拶する新会長

がうかがえます。なお<粒状体>の名称は先生が考え出されたものだそうです。

先生が研究とは異質の仕事で恐らく一番苦勞されたのは、東大の工学部長を勤められたときのことでしょう。ただでさえ行政官的雑務が多いところへもってきて、かの有名な東大紛争が起こり、その解決に大変心痛されたのであります。ちょうど胃潰瘍を患われた後のことでもあ

り、そのご苦勞は、なみたいていではなかったろうと思われます。

飄々とした風格と軽妙なユーモアは、接する人びとに温い親しみをいだかせ、多くの子弟、学生から、おやじのように慕われているのも、先生の人徳の一端を示すものといえましょう。先生の風貌には、どこか日本人ばなれのしたところがあり、日航のスケジュールズから、英字新聞をくばられたことも一度ならずあったそうです。写真に興味をもっておられますが、その腕前はなかなかのもので、特に風景写真は玄人の域に達していると評する人も多いとか。

土木学会では、理事、副会長として、学会の運営に参画されたこともあり、また、土質工学会会長、日本建設機械化協会会長も歴任され、会長職のご経験も豊富なだけに、新会長としてのご活躍が期待されています。(K 記)

現住所：〒107/東京都港区北青山3-9-13. 電話 (03)400-5263 番。